



統計スポット情報

No. 96

H16.11.17

福井県総務部政策統計室

生産波及効果

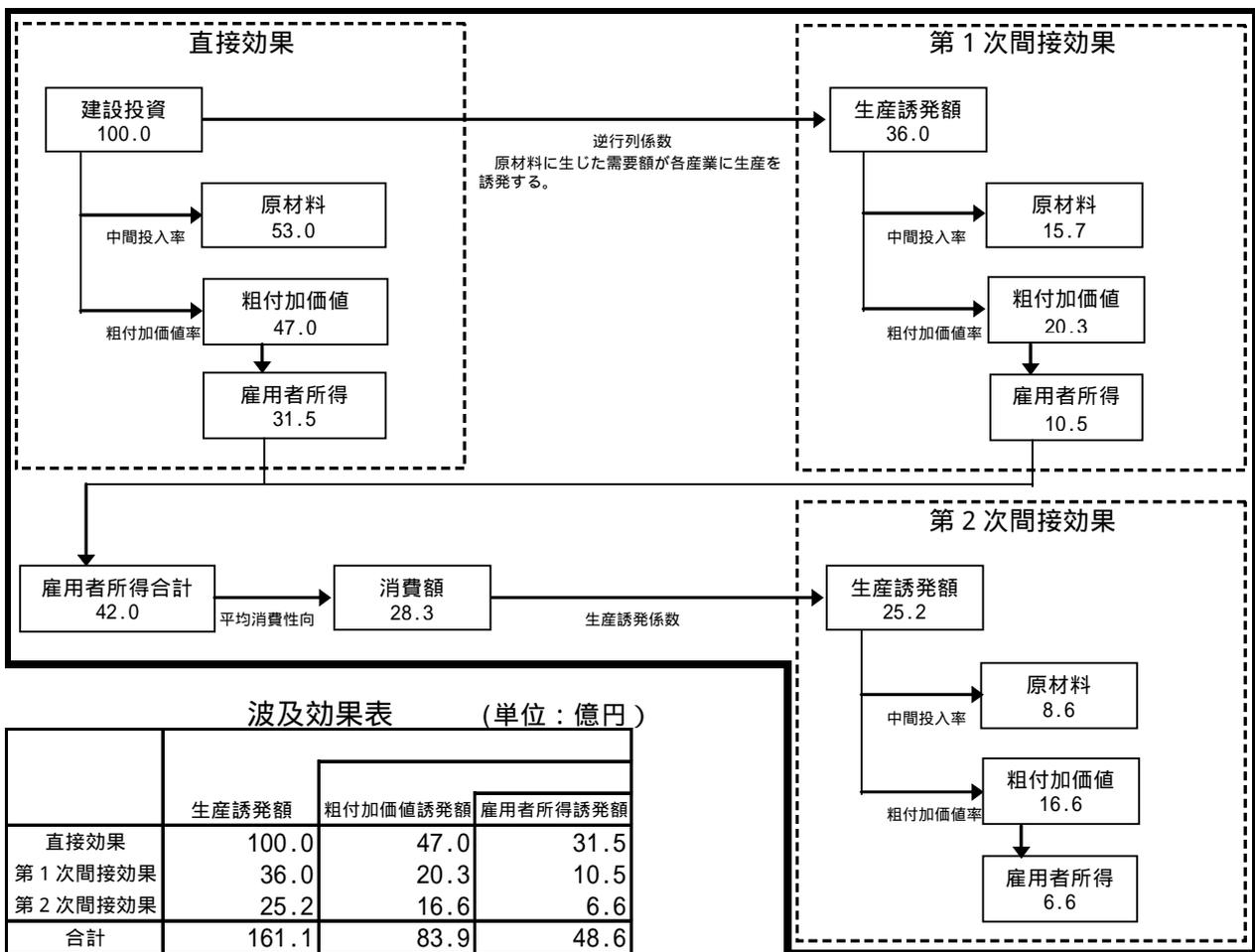
- 産業連関表の活用 -

このたび平成 12 年福井県産業連関表（5 年ごとに作成）が公表となりました。

産業連関表とは、特定の年の 1 年間（本表では平成 12 年）に、特定の地域（本表では福井県）で生産された全ての財・サービスの取引、相互関係を一覧表にまとめたもので、主に生産波及効果の分析に活用されています。

早速これを使って、仮に建設部門に 100 億円投資した場合の生産波及効果をみてみましょう。

生産波及効果の流れ （単位：億円）



平成 12 年表 32 部門、平均消費性向は 67.5%（平成 12 年値）を使用、四捨五入のため合計値が一致しない場合がある。

上記のように直接効果に 1 次、2 次間接効果を含めた生産誘発額は 161.1 億円になります。つまり 100 億円の投資で県内全体に 161.1 億円の生産波及効果があるという結果になります。

また 161.1 億円のうち、企業の儲けなどを表す粗付加価値誘発額は 83.9 億円となります。このうち雇用者の所得などを表す雇用者所得誘発額が 48.6 億円となっています。

産業連関表は建設などの投資だけでなく、イベントなどの生産波及効果も測定することができ、これまでに福井県で行われた「若狭路博(平成 15 年度)」や「W 杯サッカーメキシコチームのキャンプ誘致(平成 14 年度)」、「恐竜エキスポ(平成 12 年度)」などを分析しています。

産業連関表をさまざまな事業の分析にお役立てください。

この資料内容の照会は政策統計室統計分析チーム（電話 0776-20-0271）へご連絡ください。